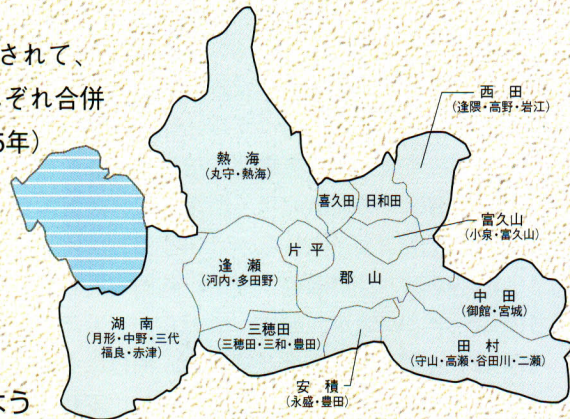


# 戦後の郡山の発展について調べよう

## 郡山市の合併から

戦後、昭和28年（1953年）町村合併促進法が公布されて、これにより、現在郡山市域となっている地域はそれぞれ合併にふみぎりました。これらの合併は昭和40年（1965年）安積10ヶ町村および中田村・西田村の合併によって完成しましたが、これ以降郡山市は東北地方有数の中核都市としての姿を整えたと言えます。



## 【リサーチ】

1. 当町村合併によって郡山市の人口と面積はどのように変化したか、下の資料からまとめてみよう。

新興住宅地の世帯数・人口の推移

昭和30年以降の学校建築状況

郡山市の合併時の面積、人口

区分 学校	昭和35年		昭和40年		昭和46年	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
開成	956	3,998	1,353	5,274	2,473	6,788
菜根	1,044	4,104	1,746	6,226	2,676	7,787
下亀田	16	91	130	471	350	1,150
鶴見坦	580	2,283	899	3,112	1,270	3,525
名倉	99	432	190	715	440	1,369
深沢	523	2,286	693	2,516	913	2,609
山根町	159	698	348	1,109	404	1,006
富田	922	4,329	1,372	5,958	2,993	10,418
富久山町久保田	1,795	7,949	2,546	10,215	4,300	13,342
田村町	174	917	324	1,323	861	2,517
◇ 徳定	191	913	300	1,084	1,411	2,529
安積町日出山	332	1,456	573	2,008	1,639	4,282

学校名	開校年 月	児童数	
		学級	人数
薫	31.4	26	978
桜	38.4	28	1,038
桑野	43.4	28	1,041
行徳	45.4	12	463
永盛	46.4	12	731
大成	48.4	24	882
大島	51.4	26	1,030
柴宮	51.4	33	1,328
安積第三	55.4	15	538
富田東	57.4		

地域	面積	世帯	人口
旧郡山	19.85 km <sup>2</sup>	15,065	75,956
大槻	16.23	1,008	7,479
富田	6.43	640	3,415
岩江	10.29	551	3,458
蒲倉・荒井	1.75	81	570
水門・大平	1.19	121	714
計	55.74	17,466	91,592

2. 戦後の郡山市の歴史年表を参考に、郡山市の発展の様子について話し合ってみよう。

昭和28年（1953）郡山でテレビが見られるようになった。

30年（1955）郡山市と富田・大槻・高瀬・岩江が合併

★1955年：人口91,119人

32年（1957）国道4号線が開通

33年（1958）市民会館・図書館の開設

34年（1959）東北本線が電化

37年（1962）三森峠が開通

39年（1964）新産業都市に指定される

40年（1965）安積10ヶ村と中田村・西田村が合併

★1965年：人口223,183人

## 【フィールドワーク】

○「郡山の歴史」郡山市教育委員会

○この頃の郡山市の様子について、家族の人などに聞いて、聞き取り調査をしよう。